



千葉労働動員

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

92.3.12 No.3554

家族総会へ集まろう



労働千葉を支える 家族会の発展を

労働千葉家族会は、来る三月二日(日)13時より、千葉市社会センターにおいて、第5回家族会総会を開催します。全支部から一人でも多くの家族会員が参加されることを切に訴えます。

労働千葉は、分割・民営化を前後する未曾有の反動攻撃に対して、職場での組合員一人ひとりの闘いはもちろん、組合員・家族一丸となって反撃し、「JR体制」を突き崩すところまでできました。

とくに、家族の協力と理解なしに労働千葉の闘いの前進もなかったことは言うまでもありません。この間家族会は、サークル活動

への参加、連続講座の開催、数多くの集会にも積極的に参加するこゝとで運動の一端を担ってききました。これからも家族会としての活動をさらに進め、また、各支部家族会の強化と支部家族会間のつながりをもっと緊密にしなければならぬと考えています。

清算事業団闘争や第一波、第二波スト裁判も大詰を迎え、家族会の役割も重要になってきています。家族会のさらなる発展のためにも家族会総会の成功をかちとりたいと思います。一人でも多くの参加をお願いします。

第五回 労働千葉家族会総会

とき 3月22日
(日) 13時

ところ 千葉市
社会センター



館山支部 家族会総会を開催(3/1)

組合員の労働条件と家族の生活を
守るために全力をあげよう

三月一日、館山市・静海荘において、館山支部家族会総会が開催された。総会には、一五家族、支部三役、支部家族会担当、本部から佐藤会長、水野執行委員など二十七名が参加した。

総会は渡辺副支部長の司会で始まり、支部を代表して笹生支部長はあいさつの中で、動乗動を中心とするこの間の闘いに対する家族会の協力に感謝するとともに、清算事業団闘争や、ますます激化するJRの合理化攻撃に対して、組合員の労働条件と家族の生活をまもるために全力を上げる決意が述べられた。

佐藤本部家族会々長は、連続講座をはじめとするこの間の本部家族会の活動を報告し、三月二日の本部家族会総会への参加を要請した。さらに水野本部執行委員からは、完全に破綻した国鉄分割・民営化の実態と、そこからの打開策としてのJR東五万人体制合理化、とりわけ当面の動乗動を中心とする合理化が、職場では過労死と直面する事態を現出している実態が報告されるとともに、生命と生活を守るため、家族ぐるみの闘いの必要性が訴えられた。続いて赤羽根家族担当委員から支部家族会の活動報告が行なわれた。一二時から昼食会に移り、食事しながらの交流会が行なわれ、和気あいあいのうちに再会を期して三時三十分散会した。



① 総会であいさつする本部家族会々長佐藤。② 総会後、家族会食事をしました。